

# からふる

令和元年 8月 夏号  
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

## 子どもたちの 安全、安心を守る 取組

今年5月、川崎市で発生したスクールバスを待つ児童に対する通り魔事件や、昨年5月、新潟市で発生した線路沿いに遺棄された子どもの事件など、登下校中の子どもたちが巻き込まれる痛ましい事件が後を絶ちません。

千歳市では、川崎市の事件を受けて、事件発生当日の下校時間から1週間程度、一部のスクールバス停留所においてパトロールを実施しましたが、子どもたちの安全、安心を守るためには、市の取組だけではなく、地域における見守り活動や、いざというときに避難できる場所があるなど、地域のみなさんの力が欠かせません。今回は、地域における取組の一部を紹介します。

## 子どもの安全、安心を守る 地域の力！！

### 1 「千歳っ子見守り隊」

「千歳っ子見守り隊」は、子どもたちの安全、安心を守りたいという思いを持った、校区内の町内会や学校のPTAの方などにより平成18年に発足しました。朝夕の30分程度、通学路での不審者の出没や犯罪抑止のための見守り、横断歩道での誘導などを行っているほか、「おはよう」「元気かい」といった、子どもたちへの声かけも積極的にしていただいています。

また、見守り隊の方が学校行事に参加するなど、学校との連携も図られています。見守り隊発足以前と比べて、不審者出没情報は減少傾向にあります。



### 2 緊急避難場所「子ども110番の家」

「ぶんちゃん『子ども110番の家』の会」と千歳市では、子どもたちが誰かにしつこく後をつけられたり、被害に遭いそうになったりしたときに助けを求めることができるよう、協力いただける店舗・事業所、個人宅を「緊急避難所（子ども110番の家）」に指定する市民協働事業を行っており、平成30年度は、1,200件を超える登録があります。

「子ども110番の家」では、子どもが助けを求めてきた場合、保護して、学校や警察に連絡することとしています。

平成29年度からは、全児童及び千歳っ子見守り隊

に、各校区の「子ども110番の家」の位置が分かる「安全マップ」を配布しています。

通学路などにある「子ども110番の家」をあらかじめ確認し、「もしものときは助けを求める」ように、ご家庭においても、お子さんにお伝えください。



### 「千歳っ子見守り隊」 「子ども110番の家」

ぜひご登録ください！

発足してから14年目を迎えた「千歳っ子見守り隊」ですが、隊員数は減少傾向にあります。子どもたちの安全、安心を確保するため、地域の方の見守りは欠かせないものです。「この日・時間・場所なら活動できる」などでも構いませんので、ぜひご登録をお願いします。ご登録いただける方は、校区の小学校にお問い合わせください。

また、「子ども110番の家」にご登録いただける企業やご家庭、「安全マップ」の作成にご協力いただける方を募集しています。ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

◆連絡先◆

ぶんちゃん『子ども110番の家』の会事務局  
(北海道新聞苫小牧支社内)

電話 0144-33-5363

※平日 9時30分～17時30分



高台小学校区の安全マップ

千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。

URL : <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>

# 学力向上の基盤は、学習環境を整えること！

「チャイムが鳴ったのに授業の準備ができていない」「教室が落ち着かなく、騒がしい」。このような状況では、学習ができる環境が整っているとは言えず、落ち着いて学習をすることはできません。

一方で、「学習に関係のないものを机の上に置かない」「私語がない」など、**学習環境が整っていれば**、学習に集中することができます。その結果、授業が分かるようになり、学ぶことが**おもしろい**と感じる児童生徒が増えることにつながります。

各学校では、児童生徒が集中して学習ができる環境を整えるため、**学習のルール（学習規律）、生活のルール（生活規律）**を決め

て教室に掲示するなど、学習環境を整えています。最近では、小中連携・一貫教育の観点から、義務教育9年間を見据えて、小・中学校で統一したルールを決めている中学校区もあります。

千歳小で作成している「千歳小 TRY」。「正しい姿勢で座る」「えんぴつを正しく持つ」など学習における7つの約束事が書かれています。全教職員、全校児童で落ち着いた学習環境づくりを進めています。



## 青葉っ子スタンダード

小中連携・一貫教育を行う青葉中学校区（日の出小、祝梅小、青葉中）では、3校の統一目標を設定。

上のポスターは、教室に掲示しているほか、啓発用として保護者への配布やコミセンでの掲示など、地域ぐるみで青葉っ子が目指す姿の共通理解を図っています。

## 学習規律

を守ると...

学ぶことが

**おもしろくなる！**

授業が分かるようになる

学習に集中できる

学習のきまりを守る

学習に向かう準備が整った環境  
私語の無い落ち着いた環境

**「学力向上」の基盤**

# ブックスタートを始めます ～親子がふれあう『ひととき』を～

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を豊かにし、生きる力を身に付けていく上で不可欠なものです。このため、千歳市では、できるだけ早い時期からの読書習慣の定着を図るため、新たに絵本を介して親と子がふれあい、本に親しむきっかけづくりを提供する『ブックスタート事業』を今年度から新たに実施することとしました。

『ブックスタート事業』は、総合保健センターで実施している4か月児健診を受診される方を対象に、健診の待ち時間に絵本の読み聞かせを行うとともに絵本のプレゼントを行います。

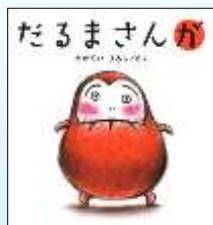
プレゼントをする絵本は次の5種類から、その場で2冊を選んでいただけます。



出版社：福音館書店  
作：安西水丸



出版社：こぐま社  
作：若山憲・森比左志・わだよしおみ



出版社：ブロンズ新社  
作：かがくいひろし



出版社：こぐま社  
作・絵：三浦太郎



出版社：偕成社  
作：エリック・カール  
訳：もりひさし

～5種類の絵本の選定は、市立図書館の司書にご協力いただきました～

ブックスタートを通して、大好きな人と絵本を開くきっかけを、「すべての赤ちゃん」と保護者のもとへ届け、抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを「すべての赤ちゃん」に届けるとともに、赤ちゃんの幸せを願い、人と人のつながりを親子で感じてもらえるよう取り組んでいきます。

# 学校の特色ある取組を紹介します！

## 祝梅小学校 サケ飼育活動 ～ふるさどを見つめ、生命の尊重・思いやりの心を育てる～

祝梅小学校では、平成5年から「サケ飼育活動」に取り組んでいます。平成から令和へ時代が変わった今も脈々と続いている大事な学習活動です。サケのふるさと千歳水族館のお力を借りながら、2年生が「採卵・受精」を担当します。その後は児童会・環境委員会の活動として「餌やり」を、2年生が「観察飼育」を校舎ホール内に置かれたサケ専用の水槽で行います。

祝梅で生まれ育った祝梅っ子の稚魚は、2月に千歳川に放流され、4年後の帰りを待つこととなります。平成8年からは岡山市立西大寺南小学校とも「サケ」を通じた交流を行っており、今では本校が千歳市の代表校となって進めています。

「サケが身近になったよ」「帰ってくるのが楽しみ」と、学習を終えた児童の感想が聞こえてきます。サケを育てる学習を通して、ふるさと千歳を見つめ直し、生命の大切さや他者への優しさを学んでいる祝梅っ子です。



## 泉沢小学校 異学年交流の充実 ～思いやりの心を育てるために～

泉沢小学校では、「笑顔 いっぱい 思いやり いっぱい」を重点目標としています。少しでも目標に近づくために、今年から異学年交流を積極的に行うようにしています。運動会では、ブロック種目、全校種目に向けて、練習の時から高学年が低学年によさこいを教えたり、ブロック内では、上の学年が積極的に下の学年に声をかけてチームをまとめたりするなど、異学年の温かいふれあいを目にする事ができました。

また、遠足では、ブロック単位で同じ場所に行くことにしました。この時も上の学年の子が下の学年の子を助けたり、励ましたりする姿が見られました。これから、学習や給食、清掃、栽培活動等へと異学年交流を広げていきたいと考えています。



## 千歳中学校 職業観の育成 ～多くの方から世の中を学ぶ～

千歳中学校では、毎年外部から講師をお招きして、様々な学習を行っています。

昨年度、1年生は、10月に「テーマタイム」として美容師など3人の方をお招きして、職業におけるやり甲斐や苦勞をお聞きました。2年生は、同じく10月に市内各事業所にお世話になり、2日間の職業体験をさせていただきました。12月には、本校の学校歯科医である「ささき歯科医院」の佐々木敏博院長を講師に迎え、食育教室を行いました。事前授業として、全



校一斉に、食物に含まれる「水分」について学び、当日に作るお弁当の献立を考えました。5・6校時の講演では、『食を通して考える口の働き』というテーマでお話を聞き、よく噛んで食べることの重要性を映像を通して学びました。噛むことで、①唾液がたくさん出る、②脳の血流が良くなる、③運動能力が高まる、とのことでした。今年度も多くの方から世の中のことを学び、職業観を育てていきます。

## いつでも、どこでも、何度でも ～自分のペースで学習できるeラーニング～

eラーニングシステムは、パソコンなどを使い、インターネットを介して学習するシステムです。いつでも、どこでも、自分のペースで繰り返し学習できる特徴があり、アニメーションや映像でわかりやすく学ぶことができ、解けない問題もヒントでサポートします。

千歳市教育委員会では、公立千歳科学技術大学と連携・協力して、市内の小中学生を対象にeラーニングシステムを利用する家庭学習支援事業「eカレッジ」を行っています。教材は、小学校3年生以上の理科・算数・社会、中学校の数学・理科・英語・リスニングがあり、取組状況の優れている方には、毎年3月に表彰状を授与しています。登録や利用は無料で、いつでも申し込みができますので、希望される方は学校までお申し込みください。



初めて利用する方や操作に不安のある方向けに毎年度、講習会を開催しています。写真は6月16日に開催した講習会の様子。

# とびっくす

## 総合教育会議を開催しました！

6月3日（月）に令和元年度第1回総合教育会議を開催しました。

本会議は、市長と教育委員会が地域の課題や教育のあるべき姿を共有し、相互に連携して教育行政を推進していくための会議です。会議では、「教育施策の平成30年度の実施状況と令和元年度の主な取組」、「外国語教育の充実」を議題とし、子どもたちが落ち着いた環境の中で気持ちよく学習を進めるための「学習規律の定着」に向けて重点的に取り組むことや、来年度から全面実施される小学校中学年の外国語活動、高学年の外国語科導入の取組状況について、意見を交わし課題を共有しました。



## イングリッシュキャンプを開催しました！

千歳市では、子どもたちの英語への興味や関心を高めることを目的に、小学5・6年生を対象とした「イングリッシュキャンプ」を平成27年度から実施しています。

年に2回の実施で、今年度1回目となる今回は、7月20日（土）に支笏湖を会場として行われ、19名が参加しました。ALT（外国人英語指導助手）と一緒にクイズやゲームなどを楽しみながら、英語に親しむ一日を過ごしました。次回は10月12日（土）に行います。



## 小中学校における勤務時間外の電話対応について（お知らせとお願い）

千歳市教育委員会では、教員が健康で生き生きとやりがいをもって勤務することができる環境をつくるため、長時間労働の改善策の一つとして、留守番電話機能（録音機能無し）を順次導入することとしました。まずは、夏休み終了後から、北陽小学校と勇舞中学校にて先行実施し、運用上の課題などを検証後、年内を目途に全小中学校で実施する計画です。

このため、これら2校では、当面の間、勤務時間終了後1時間半から2時間程度で当日の電話対応を終了し、留守番電話に切り替えさせていただきます。保護者や地域の皆様におかれましては、学校への連絡は、可能な限り勤務時間内にいただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。緊急の場合は、千歳市役所代表電話（24-3131）にご連絡願います。

なお、全校実施の開始の際には、改めてお知らせいたします。市立小中学校における留守番電話機能の導入に係る取組につきましては、学校指導課教職員係（24-0842）へお問い合わせください。

※小中学校の主な勤務時間 午前8時00分から午後4時30分（学校や行事日により異なる場合があります。）



## 支笏湖小学校 ～我が校の図書館～

### <学校図書館司書の綾部さんにインタビュー>

週2日で勤務しており、月2回絵本の読み聞かせと図書の特設展示コーナーを整備しています。季節や学校行事のタイミング、学習活動にリンクするよう、市立図書館の本も借りながら、読書環境や企画の充実を図っています。

国立公園内にある学校ということもあり、支笏湖の自然をテーマにした学習活動が盛んです。調べ学習が充実するよう、一人一人に寄り添うレファレンスガイドを心がけています。子どもたちの興味関心が広がる瞬間に立ち会えたとき、とても嬉しいです。

児童との関わりは？



## 緑小学校 ～私たちのP活動～

緑小学校PTAは、役員会をはじめ、学年・研修・生活・広報・厚生・グリーンセールの委員会のほか、有志の組織おやじの会・グリーンマザーズ・手芸部なども加わり、子どもたちのために「緑小ならではの」活動を実施しています。「交流・学び・安全」を推進する各委員会活動のほか、手芸部では、子どもたちの辞典活用を促進する「マイ・ディクショナリー」事業の児童一人一人へのバッグ作成や、おやじの会の「餅つき大会」をはじめ、グリーンマザーズの「お話の会ぴっころ」など、子どもが笑顔になり、緑小に関わる皆さんの絆が深まる活動がいっぱいです。

時には「教職員の応援団」としての活動も…



<PTA 環境整備作業の様子>  
あっという間にグラウンドにコースができあがり！

編集・発行 千歳市教育委員会（千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話：24-0819（直通） ■FAX：27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：http://www.city.chitose.lg.jp/